



国分寺小 校長室だより

# 榎の木陰

令和5年度 第2号 令和5年5月2日

## 避難訓練を行いました

4月14日（金）に、地震からの火災を想定した避難訓練を行いました。国分寺中学校との合同避難訓練で、国分寺中学校の校庭に避難しました。小中一貫教育の取組として、国分寺東小でも、この日に避難訓練を行いました。小学生も中学生も、「おかしも」（押さない、駆けない、しゃべらない、戻らない）を守って、整然と避難することができました。

お子様が在校中に、震度5強以上の地震が発生した場合は、教育活動を打ち切り、保護者への引き渡しを行います。その際は、国分寺中学校の校庭にお迎えに来ていただく可能性もあります。一斉メールでご連絡しますので、ご協力をお願いいたします。学校では日頃から、「自分の命は自分で守る」と声掛けをして、自分で危険を予見・回避できる力を身に付けさせていきます。今後も、ショート避難訓練等の各種避難訓練を繰り返し行っていきます。



## 交通安全教室を行いました

4月17日（月）に、交通安全教室を行いました。今年度は、下野警察署の方による、シミュレーターを使用しての交通安全（横断歩道の渡り方）についての学習でした。2校時に1～3年生が、3校時に4～6年生が体育館に集合して行いました。

代表児童のシミュレーション（模擬体験）を基に、横断する際の注意点（左右確認、手を挙げて横断する意思を伝える、車の影や死角からの自転車等に注意するため、走らない、夕暮れの視界の悪さ等）を確認しました。児童は、話を聞くだけでなく、横断に関わる様々な危険についての実感をもって、自分の身を守るための心構えを学ぶことができました。



## 1年生を迎える会を行いました

4月26日（水）に、児童会行事の「1年生を迎える会」を行いました。この会に向けて、6年生全員が、プレゼント作成や会場準備、進行の練習等を行ってきました。2年生から5年生も、1年生へのプレゼントを作成しました。

当日は、3年ぶりに全児童が体育館に集まり、直接の交流ができました。6年生の始めの言葉や終わりの言葉、2年生から5年生までの代表児童のお迎えの言葉、国分寺小の学校生活のクイズ、プレゼント贈呈を行いました。最後に1年生が、元気にお礼のあいさつをしました。1年生をあたたく迎え入れる気持ちが表れた、「やさしき風が流れた」会となりました。



## 学校運営協議会①を開きました

4月26日（水）に、今年度第1回の学校運営協議会を開きました。校長より学校経営方針を説明し、委員の皆様方から承認をいただいたことが、内容の中心でした。学校運営協議会委員の皆様のご氏名と、今後の学校運営協議会の予定をお知らせします。保護者の皆様の傍聴も可能ですので、ご参加ください。

### 令和5年度 国分寺小学校運営協議会委員の皆様

- ・田村 昭夫 様（会長） ・上野 法忍 様（慈眼寺住職 副会長）
- ・菅井 貞雄 様（下町自治会長） ・大垣 玉枝 様（主任児童委員）
- ・北原 由香恵 様（愛泉幼稚園園長） ・工藤 直寛 様（PTA会長）
- ・生澤 晃 様（むくの木）・稲葉 亜希恵 様（国分寺中教頭）
- ・坂本 順子 様（国分寺東小教頭）



### 令和5年度 国分寺小学校 学校運営協議会予定

- ① 4月26日（水）14:00～15:00
- ② 7月12日（水）10:00～11:20
- ③ 10月24日（火）13:30～15:00 ※場所は、国分寺小図書室
- ④ 2月 5日（月）12:30～15:00

### 【委員の皆様からいただいたご意見】

#### （読書について）

- ・読書は学力を支える大切なものである。それぞれの学校で工夫しながら、底上げを図っていききたい。
- ・今の子どもたちは、帰宅すると誘惑が多い。家庭では、一人で読書はしない。親が率先して一緒に読もうという働きかけを、PTAでもしていきたい。
- ・自分の子どもは本が好きであった。興味のあることを調べることがきっかけとなった。きっかけ作りをしていくといいと思う。
- ・読書については、忙しい家庭が多い。親子読書といわれると、親の大きな宿題になってしまうとを感じる家庭もあるだろう。
- ・読書感想文大会などやってみるといいのかもしれない。読む子が増えるのではないかな。
- ・自分自身も本ではなく、スマホを見てしまう。保護者が一緒に行くことは大切。

#### （挨拶について）

- ・児童が挨拶をできるようになるといい。子どもの挨拶で、地域の意識が学校に向く。子どもが挨拶してくれると地域はうれしい。

#### （PTA活動について）

- ・PTA活動は必要である。自分の経験では、保護者からの意見に対しての対応をPTAが行ったこともある。子育て以外にも、保護者の悩みに寄り添ったり、教員との意見交換を行ったりすることが必要である。PTA活動は、なぜいらないと感ぜられるのか。
- ・活動が大変だと思われる。そうではないことを周知していくことが必要。

#### （教育活動の周知について）

- ・小中一貫教育の取組を周知していくことが必要。小中一貫教育の必要性を保護者が理解できるようにしていくことが大切である。
- ・教育活動については様々な取組をしていることを周知する必要性がある。

#### （その他）

- ・校長通信を読ませていただいた。先生方の苦労も大きい。委員としての取組が、先生のフォローになるといいと思う。
- ・自転車ヘルメットも親が率先してかぶるといい。
- ・「家庭の日」の啓発のポスターでは、国小の児童の作品が選ばれ、カレンダーとして2か月分、掲載された。すばらしいことである。第3日曜日は、家庭の日。普及のためにも何かできるといいと思う。

いただいたご意見を、今後の学校経営に生かしていきます。